

鍵は生産性向上、担い手確保

座談会 福祉の現状課題から未来へ向けて

▽介護の日とは

「介護の日」は厚生労働省が平成20年に制定し、この日を中心に介護の意義や重要性についての周知・啓発活動が行われる。介護の業界では現在多くの課題があり、多くの法人・施設では生産性の向上、ワークライフバランスや働き方改革等も含めてさまざまな取り組みを実施しながら、マンパワーの確保を進めつつさまざまな課題の解決に向けて尽力している。介護の現状と課題、展望について奈良県老人福祉施設協議会の秋吉美由紀会長、奈良県地域包括・在宅介護支援センター協会の東(あずま) 武志会長、奈良県社会福祉法人経営者協議会の林昌弘理事に語り合っていた。

▽現状

現在の福祉・介護業界を取り巻く環境は、秋吉 福祉は「誰一人として取り残さない」のが基本理念です。しかし将来的に今の福祉サービスという点を危惧しています。介護サービスのニーズは高まっている一方で、少子高齢化の中で介護の担い手が減少し、これは介護の業界になりつつあるのが現実です。奈良県では2023年の出生数が2

▽補助金

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

▽展望

介護について明日に向けた明るい展望は、



奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会 東 武志会長

有や統計分析など多くのメリットを感じます。秋吉 私どもの施設も含めて奈良県老協会員施設でも多くの施設が見回り機器、インカム、SNSを導入しており、勤怠管理なども含めてデジタル化、ペーパーレス化を進めることで、介護業務の周辺部分を省力化でき、それによって介護サービスにマンパワーをより円滑に投入でき、介護サービスの質の向上につながっていると実感します。

魅力若く世代にも あらゆる人材活躍を ICTの活用で工夫

東氏 地域包括支援センターでは、相談があるとき現場に出向くようにしています。ですから、

▽生産性の向上とワークライフバランス

今後一層マンパワーが不足するという指摘ですが、介護業界としては生産性向上、あるいはワークライフバランス、働き方改革等

▽特別養護老人ホームの運営は、介護報酬で賄われている

▽ICTの活用で工夫

▽東氏

▽林氏

▽秋吉氏

▽東氏

▽林氏

▽秋吉氏

▽東氏

▽林氏



奈良県社会福祉法人経営者協議会 林昌弘理事

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

生産性向上については補助金もあるのですが、現場としてい

個人情報に関する問題はあると思いますが、我々民間の法人では入

個人情報に関する問題はあると思いますが、我々民間の法人では入

個人情報に関する問題はあると思いますが、我々民間の法人では入

個人情報に関する問題はあると思いますが、我々民間の法人では入

個人情報に関する問題はあると思いますが、我々民間の法人では入

個人情報に関する問題はあると思いますが、我々民間の法人では入

個人情報に関する問題はあると思いますが、我々民間の法人では入

11月11日は介護の日です。これは「いい日、いい日、毎日、あつたか介護ありがとう」という介護の日のキャッチコピーからきています。

知ってほしい 介護の現場

助け合い感謝を伝え

公益社団法人全国老人福祉施設協議会会長

大山 知子



「ありがとう」という感謝の言葉は思っても口に出さないとうまく伝わりません。今日は介護の日、皆さまも「いい日、いい日」と口に出してみてはいかがでしょうか。さて全国老協では、全国約1万1000施設が加入している団体でございます。各地域の問題に対して助け合いの元、日々活動を続けております。

現在、奈良県老人福祉施設協議会には、奈良県内の社会福祉法人が運営する養護 特養 軽費・ケアハウス、デイサービスセンターの事業所205施設が加盟しています。

老人福祉の増進を

奈良県老人福祉施設協議会会長

秋吉 美由紀



日、「いい日、いい日、毎日、あつたか介護ありがとう」という思いから、高齢者や障害者に対する介護を国民に身近に啓発していくこと「介護の日」と定めました。私たちは、この「介護の日」に、改めて急激に進む超高齢社会に向けて、介護を社会全体で我が事と受け止め支えていかなければと思っております。奈良県老協は、その核となり皆さまと共に歩んでいくことを心新たにしております。

結ぶ・繋ぐ・包む存在

奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会会長

東 武志



援センター・在宅介護支援センターであります。今年も「介護の日」を迎えるにあたり、地域を「結ぶ・繋ぐ・包む」存在である地域包括支援センター・在宅介護支援センターが、これまで担ってきた役割を再認識するとともに、誰もが安心して生活できる地域づくりを目指して、また、今後さらにより良い地域となるために、私たちができることをこれからも広げていきたいと思っております。

笑顔でつながる 心でつながる 奈良県老人福祉施設協議会

〈ビジョン〉 地域をむすぶ・つなぐ・つむむための未来像 奈良県地域包括・在宅介護支援センター協議会



11月11日は「介護の日」です。